

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成26年10月3日

【四半期会計期間】 第56期第3四半期(自 平成26年5月21日 至 平成26年8月20日)

【会社名】 北恵株式会社

【英訳名】 KITAKEI CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 北 村 良 一

【本店の所在の場所】 大阪市中央区南本町三丁目6番14号イトウビル

【電話番号】 (06) 6251-1161 (代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長 北 村 誠

【最寄りの連絡場所】 大阪市中央区南本町三丁目6番14号イトウビル

【電話番号】 (06) 6251-1161 (代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長 北 村 誠

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第 1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第55期 第3四半期 連結累計期間	第56期 第3四半期 連結累計期間	第55期
会計期間	自 平成24年11月21日 至 平成25年 8 月20日	自 平成25年11月21日 至 平成26年 8 月20日	自 平成24年11月21日 至 平成25年11月20日
売上高 (千円)	33,972,016	36,693,819	46,613,148
経常利益 (千円)	662,133	770,173	938,189
四半期(当期)純利益 (千円)	383,826	467,016	533,318
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	458,763	476,568	647,005
純資産額 (千円)	9,286,180	9,839,495	9,474,268
総資産額 (千円)	19,333,158	20,653,221	20,837,752
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	41.36	50.33	57.47
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	48.0	47.6	45.5

回次	第55期 第3四半期 連結会計期間	第56期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成25年 5 月21日 至 平成25年 8 月20日	自 平成26年 5 月21日 至 平成26年 8 月20日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	12.96	10.52

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び連結子会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、本四半期報告書提出日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間（平成25年11月21日～平成26年8月20日）におけるわが国経済は、政府による金融・経済政策の効果为背景に個人消費や企業収益に回復傾向がみられたものの、新興国経済の成長鈍化や消費税率引き上げにともなう景気の減速等、不透明な状況が続きました。

当住宅関連業界におきましては、住宅ローン減税の拡充や住宅ローン金利の水準が低い状態で推移しているものの、消費増税前の駆け込み需要の反動により、新設住宅着工戸数は3月以降、減少傾向にて推移しております。

このような状況のもと、当社グループは新規取引先の開拓、重点商品（オリジナル商品、施工付販売、住宅設備機器）や太陽光発電システムを中心としたエコ関連商材の販売に注力するとともに、経営資源の活用と経営効率の向上を最重点課題として取組み、業績の向上に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、前年同四半期に比べ27億21百万円増加し、366億93百万円（前年同四半期は339億72百万円）となりました。営業利益につきましては、売上高の増加にともなう売上総利益の増加により、7億3百万円（前年同四半期は5億93百万円）となりました。経常利益につきましては、7億70百万円（前年同四半期は6億62百万円）、四半期純利益につきましては、4億67百万円（前年同四半期は3億83百万円）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べて1億84百万円減少し、206億53百万円となりました。これは主に現金及び預金3億12百万円並びに受取手形及び売掛金2億52百万円の減少や有形及び無形固定資産2億23百万円の増加によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて5億49百万円減少し、108億13百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金1億96百万円並びに未払法人税等2億5百万円の減少によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて3億65百万円増加し、98億39百万円となりました。これは主に利益剰余金3億55百万円の増加によるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

特記事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	32,000,000
計	32,000,000

② 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成26年8月20日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年10月3日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	10,011,841	10,011,841	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	10,011,841	10,011,841	—	—

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年8月20日	—	10,011,841	—	2,220,082	—	2,850,892

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成26年8月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 732,500	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,264,700	92,647	—
単元未満株式	普通株式 14,641	—	—
発行済株式総数	10,011,841	—	—
総株主の議決権	—	92,647	—

- (注) 1 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式93株及び証券保管振替機構名義の株式21株が含まれております。
- 2 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成26年5月20日)に基づく株主名簿による記載をしております。

② 【自己株式等】

平成26年8月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 北恵株式会社	大阪市中央区南本町 3丁目6-14 (イトウビル)	732,500	—	732,500	7.31
計	—	732,500	—	732,500	7.31

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成26年5月21日から平成26年8月20日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年11月21日から平成26年8月20日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年8月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,560,150	6,248,097
受取手形及び売掛金	8,763,944	8,511,894
有価証券	—	200,545
商品	619,205	794,256
未成工事支出金	663,772	482,206
その他	162,304	105,269
貸倒引当金	△17,295	△15,413
流動資産合計	16,752,082	16,326,856
固定資産		
有形固定資産	1,745,640	1,845,571
無形固定資産	109,670	233,422
投資その他の資産		
その他	2,273,453	2,289,060
貸倒引当金	△43,094	△41,690
投資その他の資産合計	2,230,358	2,247,370
固定資産合計	4,085,669	4,326,364
資産合計	20,837,752	20,653,221
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,181,665	8,984,872
未払法人税等	291,009	85,511
賞与引当金	—	133,100
役員賞与引当金	23,000	—
その他	736,403	423,186
流動負債合計	10,232,078	9,626,671
固定負債		
退職給付引当金	5,267	—
役員退職慰労引当金	253,350	251,970
資産除去債務	9,938	26,163
その他	862,848	908,920
固定負債合計	1,131,405	1,187,054
負債合計	11,363,483	10,813,725

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年8月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,220,082	2,220,082
資本剰余金	2,851,384	2,851,408
利益剰余金	4,378,044	4,733,710
自己株式	△205,414	△205,429
株主資本合計	9,244,097	9,599,771
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	229,398	239,084
繰延ヘッジ損益	772	639
その他の包括利益累計額合計	230,171	239,723
純資産合計	9,474,268	9,839,495
負債純資産合計	20,837,752	20,653,221

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年11月21日 至平成25年8月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年11月21日 至平成26年8月20日)
売上高	33,972,016	36,693,819
売上原価	30,441,589	32,879,870
売上総利益	3,530,427	3,813,949
販売費及び一般管理費	2,937,065	3,110,692
営業利益	593,361	703,257
営業外収益		
受取利息	3,682	4,742
受取配当金	7,456	9,063
仕入割引	97,135	95,613
受取賃貸料	38,514	37,180
その他	13,105	11,421
営業外収益合計	159,894	158,022
営業外費用		
売上割引	77,978	76,257
不動産賃貸原価	12,831	10,377
その他	311	4,470
営業外費用合計	91,122	91,106
経常利益	662,133	770,173
特別利益		
投資有価証券売却益	9,946	—
違約金収入	—	36,072
特別利益合計	9,946	36,072
特別損失		
固定資産廃棄損	2,091	—
特別損失合計	2,091	—
税金等調整前四半期純利益	669,988	806,245
法人税、住民税及び事業税	276,030	292,061
法人税等調整額	10,132	47,167
法人税等合計	286,162	339,229
少数株主損益調整前四半期純利益	383,826	467,016
四半期純利益	383,826	467,016

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年11月21日 至平成25年8月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年11月21日 至平成26年8月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	383,826	467,016
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	76,926	9,685
繰延ヘッジ損益	△1,988	△132
その他の包括利益合計	74,937	9,552
四半期包括利益	458,763	476,568
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	458,763	476,568
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

【注記事項】

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年11月21日 至 平成26年8月20日)	
(賞与引当金)	<p>前連結会計年度においては、従業員への賞与支払額が確定していたため、前連結会計年度に属する額を未払費用273,765千円(流動負債のその他)として計上していましたが、当第3四半期連結会計期間においては、四半期連結財務諸表作成時に従業員への賞与支払額が確定していないため、支給見込額のうち当第3四半期連結会計期間に属する額を賞与引当金として計上しております。</p>
(法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正)	<p>「所得税法等の一部を改正する法律」(平成26年法律第10号)が平成26年3月31日に公布され、平成26年4月1日以後に開始する連結会計年度から復興特別法人税が課されないことになりました。</p> <p>これにともない、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、平成26年11月21日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については、従来の38.0%から35.6%となります。</p> <p>なお、この税率変更による影響額は、軽微であります。</p>

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年11月21日 至 平成25年8月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年11月21日 至 平成26年8月20日)
減価償却費 31,186千円	減価償却費 43,362千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年11月21日 至 平成25年8月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年2月19日 定時株主総会	普通株式	92,817	10.00	平成24年11月20日	平成25年2月20日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年11月21日 至 平成26年8月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年2月19日 定時株主総会	普通株式	111,350	12.00	平成25年11月20日	平成26年2月20日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年11月21日 至平成25年8月20日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成25年11月21日 至平成26年8月20日)

当社グループは、木材店、建材店、工務店、住宅会社等に対する新建材、住宅設備機器等の建材販売事業(施工付販売含む)並びにこれらの付帯業務の単一事業であり、開示対象となるセグメントはありませんので、セグメント情報の記載は省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年11月21日 至平成25年8月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年11月21日 至平成26年8月20日)
1株当たり四半期純利益金額	41円36銭	50円33銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	383,826	467,016
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	383,826	467,016
普通株式の期中平均株式数(千株)	9,280	9,279

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年10月3日

北恵株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 吉 田 敏 宏 ⑩

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 守 谷 義 広 ⑩

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている北恵株式会社の平成25年11月21日から平成26年11月20日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成26年5月21日から平成26年8月20日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年11月21日から平成26年8月20日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、北恵株式会社及び連結子会社の平成26年8月20日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

【表紙】

【提出書類】 確認書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の8第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成26年10月3日

【会社名】 北恵株式会社

【英訳名】 KITAKEI CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 北 村 良 一

【最高財務責任者の役職氏名】 ー

【本店の所在の場所】 大阪市中央区南本町三丁目6番14号イトウビル

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長 北村良一は、当社の第56期第3四半期(自 平成26年5月21日 至 平成26年8月20日)の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。